

＝訃報＝

トロイヤー初代学務副学長逝去



モーリス・トロイヤー博士 1903-1997

昨年12月19日、国際基督教大学初代学務副学長、モーリス・E・トロイヤー博士は、ペンシルバニア州スプリングハウスで逝去された。本学名誉教授トロイヤー博士は、ICU創立を決めた1949年御殿場会議のメンバーであり、ICUをそもそもの初めから日本の大学の中でユニークたらしめたりベラル・アーツ教育の推進者であった。

1961年5月に韓国の延世大学で開かれたUBCHEA (United Board For Christian Higher Education in Asia)の総会で、トロイヤー教授は次のように語っている。

「では、クリスチャン・スカラーの役割とは何でしょうか。心身の健康を含め、知識と技術、社会的競争力、安定した情緒、考える態度と喜びと能力を与える、つまり、自信をもって現実を直視する力と、人生の目標としての、また、人生の依って立つ規範としての価値観が培われるよう一人一人の手助けをする、という一般的な教育目標に留まらず、そこに、「キリストの精神において神と人との奉仕するために」をつけ加えて頂きたい。これこそ、キリスト教教育を特徴づけ、クリスチャン・スカラー固有の役割を定義する言葉なのです。」

あらゆる点において、モーリス・トロイヤー博士はクリスチャン・スカラーであった。学生、同僚、学問に対する彼の献身は、彼が力を尽くして創り育てた国際基督教大学の理念と目標を人々に理解させるよい手本であった。

1903年8月、イリノイ州ノーマルで生まれのモーリス・トロイヤーはブラフトン・カレッジを卒業。彼はここで、昨年7月に亡くなるまで終生の伴侶となった、「ビリー」ことアーヴィラ・トロイヤー夫人と出会うのである。母校で助教授を務めた後、オハイオ州立大学で修士と博士の学位を取得、同大学で教鞭を取った。1936年から1950年まではシラキュース大学で教授として教えるかたわら、1940年から43年にかけてAmerican Council on Educationとも密接な関わりを持った。

1949年、シラキュース大学学長ウィリアム・P・トーリー博士は、トロイヤー博士の知識と教務経験を高く評価して、博士をICU設立組織委員会のメンバーに推薦する。こうして博士は、ICU創立を決定した1949年春の御殿場会議に米国使節団の一員として来日するのである。続いてトーリー学長は、トロイヤー博士に期限の無い休暇を与え、博士はICUの初代学務副学長に就任する。1951年11月から1962年3月までこの職を務めた後も、1966年8月にシラキュース大学に戻るまで、博士は教育心理学の教授としてICUに留まった。シラキュース大学を退職後、1974年4月から11月まで、博士は客員教授として再びICUを訪れている。トロイヤー夫妻はまた、長年、ICU教会のメンバーでもあった。

博士は、1961年にブラフトン・カレッジから、1966年にICUから名誉博士号を、また、日本国から勲三等を授与されている。ICUでは、同僚、友人、かつての学生が、アーヴィラアンド モーリス トロイヤー賞を設け、毎年、教育学科を卒業する4年生1名に贈り、いつまでもご夫妻を記念することとした。

1月10日、ペンシルバニア州スプリングハウスのギネッドエステーツでのメモリアルサービスに続いて、3月22日(日)午後2時30分からICU教会で追悼式が行われる予定である。